

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム設楽の家

## 目標達成計画

作成日: 令和 4 年 9 月 12 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	48	意欲低下、日中の居眠りが増えている。 退屈しないよう各自取り組んでいるが、塗り絵・パズル・読書等マンネリ化している。	利用者の笑顔を引き出す。 日中の活動量を増やし、メリハリのある日常となるようにする。	職員が話し相手となる時間を増やす。 関わり方を工夫する(本を渡すのではなく、朗読したり、パズルや塗り絵は一緒に完成させる)事で、不活発にならないよう取り組む。 気分転換として行っている事も、同じ事の繰り返しとならないようにする為、職員間で話し合う	6ヶ月
2	54	洗濯物がきちんと片付けられてなかったり、ベッドの上にタオルや服等をおいている。	居室の整理整頓ができ、居心地よい部屋となる。	洗濯物は所定の場所に片付ける事ができるように声がけしたり、職員と一緒に片付ける。 季節外れの物は、クローゼットに片付けるか、家族に持ち帰ってもらう。	6ヶ月
3	47	服薬の目的・用法・用量等を把握できていない職員がいる。	全職員が把握し、正社員の指示無く、確実に服薬できるようにする。	受診・相談時の薬剤情報を確認し、処方の変更があった時は詳細記録に記入された内容を理解する。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。